

# プライベートにも生かせる国関の知識

国際関係学部1期生(3回生)の学び

## 国際関係学部を選んだきっかけ

高校での3年間での学びを通じて、途上国における貧困問題、また、そういった社会問題に対してビジネスで解決を図るアプローチ方法に興味を持ちました。さらに、今日世界が直面している社会問題の解決には、ひとつの視点ではなく多面的な視点で解決を図ることや、課題解決に英語で向き合うことが必要不可欠であると考えていました。そんな中で、幅広い科目で国際関係学を学ぶことができ、キャンパス内外問わず実践的な活動を積み重ねられるのは、この学部しかない！と思い、この学部で学ぶことを決めました。

## 大学生活について

大学生になり一人暮らしをはじめ、自由であることをいいことにこだわりのある生活をしています。以前はあまり関心なかった環境問題ですが、何気なく受講した授業でその現状を知り、できることから始めてみようと思い、エコフレンドリーな生活をはじめました。さらに、国際関係学部にはこういった課題に興味関心のある子が多く、課題について話すことはもちろん、一緒にビーガンカフェに行ったり、エシカルなプレゼントをし合ったり、みんなで楽しく、優しい生活を送っています。

## 海外Field Research

### 研修先：タイ

私は、FRとしてタイのチェンマイ大学へ訪れました。新型コロナウイルスの影響もあり、日系企業の訪問やホームステイはできませんでしたが、チェンマイ大学で、タイやASEANの経済や開発について詳しく学んだり、古都チェンマイの豊かな自然に触れ、非常に有意義な2週間を過ごすことが出来ました。



## ゼミの研究テーマ

### 「国際ビジネスの複眼的アプローチ」 (植原ゼミ)

私は、「国際ビジネスの複眼的アプローチ」をテーマとする植原ゼミに所属しています。普段は、国際ビジネスニュースについてプレゼンを行ったり、国際経営に関する書籍を読み、みんなで議論をしたりしています。さらに、公的機関や企業の訪問、外部講師を招いた座談会なども多く、キャンパス内では学ぶことのできない、現場により近い学びができます。メンバーも、積極的で、学習意欲の高いメンバーで非常に刺激になっています！

